

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本中央リース株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・企業理念を明文化し、経営者は会社のあるべき姿を定期的に従業員に発信し、共有している。 ・従業員は企業理念を理解した上で、目標を掲げ、やりがいを持って業務に望んでいる。								8	9										17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・従業員の法令遵守への意識向上のため、定期的に意識付けをしている。 ・担当者を定め、定期的に外部研修への参加をしている。																			16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・仕入等に対し、不正取引がないかをチェックしている。										10										16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・SDGs担当者を定め、従業員に対し自らの活動が社会・環境に及ぼす影響を発信、共有している。																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の保護のために担当者を定めている。 ・【予定】2021年10月研修会を実施予定。								8.2 8.3	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報掲載されている書類は、使用后必ずシュレッダーにかけて処分している。																				16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的にステークホルダーをイベントに招待し、双方向のコミュニケーションに努めている。 ・ステークホルダーと協力したイベントなどの取組みを行っている。																				16 17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8	10		12	13	14	15	16	17			17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11			13.1					16 17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●											1	2											8 12 13 14 15 16 17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に定めている。 ・職場環境において差別しない体制づくりに努めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生推進者をさだめており、啓発活動を行っている。 ・安全大会や社内のパトロール、啓蒙日を設けて従業員の安全に対する意識向上に努めている。 ・安全衛生コンサルタントのアドバイスを基に常に労働環境の改善に努めている。			3					8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・定時退社の推進を行っている。 ・残業の申請制度を設けており、従業員の残業に対する意識改善に努めている。 ・従業員の有給休暇取得を推進するために、取得に応じた費用補助を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得や研修費用の補助を行っており、資格取得、外部研修の推奨をしている。 ・従業員のキャリアに応じた通信教育制度を実施しており、定期的な能力向上の機会を設けている。				4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・インフルエンザ予防接種の全額負担や健康診断の実施およびオプション検査の補助を行っている。 ・禁煙補助を行っている。 ・健康経営優良法人の認定を受けている。 ・社内行事を開催し従業員のコミュニケーションの場を設けている。 ・サークル活動の支援を行っている。			3					8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・定年退職した従業員の再雇用を行っている。 ・インドネシアからの外国人研究生の受け入れについて計画を進めている。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・社内で行う会議は、web会議にしている。			3						8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●												8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4					8	9									12	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 熊本中央リース株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・油水分離槽を設置し、廃棄物や有害物質の流出防止をしている。 ・壊れた機械の部品やパーツを自社機械に再利用することで、不要な廃棄の防止に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社内で経費削減に対する数値を設け、定期的に電力等の使用量の共有や改善提案を行っている。また、太陽光パネルを設置し、電力の削減に努めている。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出を算出しており、レンタカー事業ではエコカーを導入している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・レジ袋などの使用を削減するために、マイバッグ使用を推奨している。					6.6										14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内文書には裏紙を利用している。 ・レンタルアップした機械は中古販売を行いリユースに繋げている。 ・壊れた機械のパーツを自社機械に使用することでリデュースに努めている。									9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内の水回りに節水ステッカーを貼り、従業員の節水意識向上に努めている。 ・洗車の際、雨水利用を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境に配慮した新型の機械の購入を行っている。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3	15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルを設置している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・プラスチックごみの分別の徹底など、海洋ごみ、海洋汚染防止に向け積極的に取り組んでいる。											12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・レンタカー事業ではハイブリッド車などの導入を行っている。 ・社用車のエコカー導入に向け、準備と計画をしている。 ・【予定】社員のエコカー購入の補助(令和3年8月より開始予定)									9.4		11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

